



..... 国際ロータリー第2660地区 ■吹田江坂ロータリークラブ.....
SUITA ESAKA ROTARY CLUB
CLUB WEEKLY BULLETIN

創立年月日/1990.2.27
事務所/〒564-0063 吹田市江坂町1丁目23番101号(大同生命江坂ビル12F)
TEL06(6821)0222 FAX06(6821)0206 E-mail:esaka-rc@lake.ocn.ne.jp

例会場/新大阪江坂 東急イン・3F 〒564-0051 吹田市豊津町9番6号 TEL06(6338)0109 例会日/毎週火曜日 12:30~13:30
会長:庄瀬寛 幹事:橋本豊 会報委員長:北山陽一

2012年3月6日 第1035回例会(第1034号)

🌀 本日の例会 🌀

📌 今週の歌 「君が代・奉仕の理想」

📌 卓話 「5分間卓話」

『最近あった楽しい出来事』

🌀 次回例会のお知らせ(3月13日) 🌀

📌 卓話 「卒業にあたって」

関西大学RAC 森本 伍一 君

阪口 章吾 君

本日の会長の時間

「ユニバーサルデザインの話」 庄瀬 会長
ユニバーサルデザインとは、文化・言語・国籍、
老若男女、障害や能力の如何を問わずに利用すること
ができる施設・製品・情報のデザイン設計です。
「できるだけ多くの人利用可能であるようなデザイン」
が基本です。障害者に限定していないのが
「バリアフリー」とは違うところです。

ユニバーサルデザインの7原則です。

1. どんな人でも公平に使えること
2. 使う上で自由度が高いこと
3. 使い方が簡単で、すぐに分かること
4. 必要な情報がすぐに分かること
5. うっかりミスが危険につながらないこと
6. 弱い力でも使えること
7. 接近や利用するための十分な大きさと空間を確保すること

前回〔2月28日〕例会記録

来客

村山 明 様(卓話者・木工作家・人間国宝)
新田 喜 則 様(村山明工房 大阪事務所)
石川 忠 義 様(庄瀬会員ゲスト)
寺井 正 美 様(寺井会員ゲスト)
赤尾 真 弓 様(赤尾会員ゲスト)
京阪 悦 子 様(延会員ゲスト)
木村 正 秀 様()
酒井 博 久 様(田中(弘)会員ゲスト)
坂ノ上 正 明 様(橋本会員ゲスト)

ニコニコ箱

赤尾 会員 村山先生、本日は有難うござい
ます。感謝申し上げます。

橋本 会員 無事娘に男の子が出来ました。初
孫です。

出席報告

寺井 委員

【2月28日】

在籍会員 39名(内出席規定適用免除者 11名)

出席会員 31名(内出席規定適用免除者 7名)

ホームクラブ出席率 88.57%

2月7日のMUを含む出席率 94.29%

関西大学RAC例会出席担当

Bグループ 西本、八橋、今村、杉本

赤尾各会員

3月12日(月)・26日(月)

会場：関西大学千里山キャンパス

中央体育館 図書資料室

時間：19:00~20:00

ロータリー、人類のために活動します (Rotary, Humanity in Motion)

庄瀬 会 員 本日の拡大例会、村山先生よろしく
お願いします。

飛田 会 員 情報集会有難うございました。

本日分 23,000円

累 計 1,036,000円

関西大学RAC第35回例会出席報告

橋 本 会 員

日 時：2月27日(月) 19:00~20:00

場 所：関西大学千里山キャンパス
中央体育館 図書資料室

出席者：和田会員・橋本

例会メインプログラムは、関西大学をよく知ってもらおうと言う事で、専門知識開発委員会がスライドを使ってクイズ形式で行ないました。例えば

(質問)千里山キャンパスの敷地はもともと何が有ったんでしょうか？

(回答)山を切り開いて今の関西大学を建設したのではなく、もともとは阪急が経営していた遊園地の後に、今の関西大学千里山キャンパスが建てられたそうです。

(質問)関西大学出身の現在有名なフリーアナウンサーは？

(回答)「ミヤネ屋」の宮根誠司

などなど楽しい趣向で、少し関西大学の事が分かった様な気がしました。

出前授業実施報告 木元 職業奉仕委員長

場 所 吹田市立吹田南小学校

日 時 2月24日(金) 2時限目、3時限目

対象学年 5年生全員(129名)

参 加 者 庄瀬会長、橋本幹事、田中(茂)会員、
西山会員、延会員、金馬会員、木元

2時限目 9:40~10:25

最初の授業は西山会員による「公認会計士について」の授業で会計の歴史、仕事の仕組み、世界で最初に出来た株式会社が東インド株式会社等を子供達に分かりやすく説明していただいた。

引続き田中会員による「環境に優しいエコ住宅」の授業では住む人の健康についてペットボトル等を使って結露やカビの話、家の中に使用されているベニヤ板やクロス等は腐食しないように体に良くないものが使用されているため換気を十分にすることなど小道具を使った話で子供達も興味深く質問する児童も有り有意義な授業となりました。

3時限目 10:45~11:30

延会員による「音楽って楽しいね！」の授業は音楽の種類、歴史、楽しみ方、歌手ヴォーカリストの話や楽屋の裏話、又、声の出し方では児童全員で発生練習をして児童のパワーでロータリアン全員が元氣をもらいました。最後に「パリはシャンパン」「さくらんぼの実る頃」「トア」の3曲を披露していただき、女子児童達から握手を求められ楽しい音楽の授業でした。

卓 話

「物を思う心、木の心、命とつきあう」

木工作家(人間国宝) 村山 明 様



日本では古来、四季折々にさまざまな樹木が育てられています。その恩恵を受けて、多様な木工芸の技法が生まれました。なかでも、木を割(く)りぬいて工芸品を作る技法を「割物」(くりもの)といいます。この技法を継承する第一人者が、木工芸家の村山明氏です。村山氏は、人間国宝の黒田辰秋が師。江戸期の洗練された趣味を練磨した技術で表す近代の木工芸界で、黒田辰秋は民芸運動の洗礼を受け、朝鮮の「無作為の美」に影響されて木工芸に新機軸を打ち立てました。村山氏はそうした師の在り方を継ぎながらも、簡素でさりげない造形を生みだしました。

村山氏が使う材料は、ほとんどが樺(けやき)です。樺は強度に富み、木目が美しく出ることから、古くから建築や家具用材に使われてきました。樺の板をどう使うかは、「木の声を聴きながら、自分の中で対話を繰り返すことで答えが出てくる」と村山氏。最大限に木の良さを生かす彼の創作姿勢には、木への慈しみが感じられます。その作品は、簡素な造形の中に優しい温もりが満ちています。

(文責：新田喜則様)